

平成21年6月期 第3四半期決算短信

平成21年5月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 協立電機株式会社
 コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 西 雅寛
 (氏名) 山口 信幸

TEL 054-288-8899

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第3四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第3四半期	19,128	—	534	—	589	—	242	—
20年6月期第3四半期	20,846	3.5	925	16.0	967	16.6	503	11.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第3四半期	70.94	—
20年6月期第3四半期	145.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月期第3四半期	16,782	7,210	41.5	2,053.42
20年6月期	15,614	7,171	44.3	2,014.12

(参考) 自己資本 21年6月期第3四半期 6,971百万円 20年6月期 6,909百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
21年6月期	—	0.00	—	—	—
21年6月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	2.0	1,100	11.7	1,150	10.8	600	7.7	175.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第3四半期 3,641,000株 20年6月期 3,641,000株

② 期末自己株式数 21年6月期第3四半期 245,968株 20年6月期 210,368株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年6月期第3四半期 3,413,410株 20年6月期第3四半期 3,459,673株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国に端を発した金融危機が世界経済の急激な悪化をもたらした、世界経済全体が未曾有の大不況に陥る中、我が国経済も輸出型企業から始まった大幅減産の動きが瞬く間にほぼ全産業に波及し、GDPも大幅なマイナスを記録する等、大変厳しい景気後退の局面で推移しました。

当社グループとしては、主力であるインテリジェントFAシステムに対する客先の認知度向上の追い風を活かし、「FOCUS 4000」、「FOCUS 5000」、「FOCUS-FX」シリーズに代表される有力新製品を積極的に拡販した結果、これら新製品は引き続き順調に推移しましたが、製造業の設備投資削減、中止の動きがほぼ産業界全般に拡大したことが主としてグループ会社の中で工作機械、制御部品、アクチュエーターを中心に影響を与え、これまで順調に推移してきた連結経営成績は減収減益を余儀なくされました。

また当第3四半期にはタイの子会社に機械部を設立し、従来行ってきた半導体基板検査装置ビジネスに加え、工作機械のビジネスもタイにて開始することといたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比8.2%減の191億28百万円となり、利益面としては、営業利益が前年同四半期比42.2%減の5億34百万円、経常利益が前年同四半期比39.1%減の5億89百万円、四半期純利益は前年同四半期比51.9%減の2億42百万円となりました。

なお、当社グループの各事業セグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、顧客である製造業で新製品開発、コストダウン並びに生産性向上投資の水準を維持する動きも一部の業種で見られましたが、景気の影響を強く受けている業種では現下の厳しい不況及びその回復時期に確たる見通しを持っていないことから、全般的な投資縮小の動きを強く受け、売上高は63億44百万円、営業利益は2億67百万円となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向があります。一方、当事業の中でも科学測定分野は新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象としているため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当事業は近年、M&Aを積極的に実施し、業容の拡大を図ってまいりましたが、当第3四半期は景況の影響を強く受けたことから、売上高は127億45百万円、営業利益は4億73百万円となりました。

なお、前年同四半期増減率は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は167億82百万円で、前連結会計年度末に比べ11億68百万円の増加になりました。これは主として社債投資等の有価証券の増加12億17百万円と非連結グループ会社宛等の短期貸付金の増加6億95百万円が売掛金及び受取手形の減少8億53百万円を上回ったこと等によるものであります。

負債につきましては負債合計が95億72百万円で、前連結会計年度末に比べ11億29百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加34億円が、支払手形及び買掛金の減少22億6百万円を上回ったこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、72億10百万円となりました。

(2) キャッシュフローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加し10億42百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、10億17百万円となりました。これは売上債権の減少による資金の収入額8億53百万円を仕入債務の減少による資金の支出額22億6百万円が上回ったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、21億14百万円となりました。これは社債投資等の有価証券取得に係る資金が売却・償還を差引後12億11百万円増加したのに加え、非連結グループ会社宛等の短期貸付金の増加6億95百万円支出したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の借り増し等により、32億63百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内景気情勢は非常に厳しいものがあり、企業の設備投資動向が非常に予測し難くなっております。直近の景気動向が企業に与えているインパクトに関しては個別の業種、企業によりかなりの違いがあり、業績やキャッシュ・フローに比較的余裕のある企業は、省力化投資や研究開発投資に優先的に予算を配分しているケースもあります。斯かる状況下、親会社の新製品は比較的景気の影響が少なく、シェアアップによる売上増の傾向が続いていることから、重点的に予算配分を受けている客先にターゲットを絞った営業展開を行えば、第4四半期には業績の回復も見込めるものと考えております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、主として低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

当該変更の結果、損益に与える影響額はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,042,592	911,889
受取手形及び売掛金	7,685,167	8,538,665
有価証券	1,217,158	—
商品及び製品	272,145	251,887
仕掛品	271,130	293,542
原材料	709,618	759,050
その他	1,416,257	609,568
貸倒引当金	△9,887	△13,547
流動資産合計	12,604,181	11,351,056
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,454,480	2,454,480
その他(純額)	751,063	697,134
有形固定資産合計	3,205,543	3,151,614
無形固定資産		
	91,455	105,998
投資その他の資産		
投資有価証券	548,475	693,185
その他	363,938	359,210
貸倒引当金	△30,600	△46,437
投資その他の資産合計	881,813	1,005,958
固定資産合計	4,178,812	4,263,571
資産合計	16,782,994	15,614,628
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,229,773	7,436,077
短期借入金	3,400,000	—
未払法人税等	69,003	268,973
賞与引当金	225,050	136,543
役員賞与引当金	—	22,690
その他	320,670	310,121
流動負債合計	9,244,497	8,174,407
固定負債		
長期借入金	18,000	18,000
退職給付引当金	62,840	34,426
役員退職慰労引当金	116,210	84,230
負ののれん	1,816	2,906
その他	129,437	129,580
固定負債合計	328,304	269,143
負債合計	9,572,801	8,443,550

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,830,491	1,830,491
利益剰余金	4,188,870	4,032,476
自己株式	△386,514	△336,034
株主資本合計	7,074,286	6,968,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△102,854	△58,678
評価・換算差額等合計	△102,854	△58,678
少数株主持分	238,760	261,382
純資産合計	7,210,192	7,171,077
負債純資産合計	16,782,994	15,614,628

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)
売上高	19,128,903
売上原価	16,349,594
売上総利益	2,779,308
販売費及び一般管理費	2,244,391
営業利益	534,916
営業外収益	
受取利息	22,929
受取配当金	8,014
仕入割引	38,324
持分法による投資利益	2,737
負ののれん償却額	1,090
雑収入	19,243
営業外収益合計	92,339
営業外費用	
支払利息	20,686
手形売却損	7,819
売上割引	8,880
雑損失	719
営業外費用合計	38,105
経常利益	589,150
特別利益	
固定資産売却益	31
貸倒引当金戻入額	2,526
特別利益合計	2,558
特別損失	
固定資産除却損	967
固定資産売却損	192
役員退職慰労引当金繰入額	26,625
投資有価証券売却損	54,246
投資有価証券評価損	80,457
特別損失合計	162,488
税金等調整前四半期純利益	429,221
法人税等	187,706
少数株主損失(△)	△644
四半期純利益	242,159

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
売上高	4,932,838
売上原価	4,244,860
売上総利益	687,978
販売費及び一般管理費	713,915
営業損失(△)	△25,937
営業外収益	
受取利息	14,165
受取配当金	325
仕入割引	9,263
負ののれん償却額	363
雑収入	7,436
営業外収益合計	31,555
営業外費用	
支払利息	6,589
手形売却損	872
売上割引	2,011
持分法による投資損失	335
雑損失	219
営業外費用合計	10,027
経常損失(△)	△4,409
特別利益	
投資有価証券売却益	2,062
貸倒引当金戻入額	1,630
特別利益合計	3,692
特別損失	
固定資産除却損	339
固定資産売却損	172
役員退職慰労引当金繰入額	8,875
投資有価証券評価損	48,710
特別損失合計	58,096
税金等調整前四半期純損失(△)	△58,813
法人税等	△22,456
少数株主損失(△)	△5,935
四半期純損失(△)	△30,420

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	429,221
減価償却費	98,675
負ののれん償却額	△1,090
持分法による投資損益(△は益)	△2,737
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,496
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28,414
賞与引当金の増減額(△は減少)	88,506
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,690
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	31,980
受取利息及び受取配当金	△30,944
支払利息	20,686
有形固定資産売却損益(△は益)	160
有形固定資産除却損	967
投資有価証券売却損益(△は益)	54,246
投資有価証券評価損益(△は益)	80,457
売上債権の増減額(△は増加)	853,497
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,586
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,206,304
その他	15,347
小計	△529,516
利息及び配当金の受取額	25,638
利息の支払額	△20,686
法人税等の支払額	△493,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,017,844
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△114,059
有形固定資産の売却による収入	70
無形固定資産の取得による支出	△12,803
有価証券の取得による支出	△1,631,844
有価証券の売却による収入	100,000
有価証券の償還による収入	320,000
定期預金の預入による支出	△500
投資有価証券の取得による支出	△170,948
投資有価証券の売却による収入	88,124
出資金の回収による収入	3,608
貸付けによる支出	△1,097,600
貸付金の回収による収入	401,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,114,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,400,000
自己株式の取得による支出	△50,480
配当金の支払額	△85,853
少数株主への配当金の支払額	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,263,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,121
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	130,202
現金及び現金同等物の期首残高	911,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,042,092

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成21年3月31日)

	インテリジェントFAシステム事業 (千円)	IT制御・科学測定事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,344,891	12,745,435	38,576	19,128,903	—	19,128,903
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	28,521	23,013	31,297	82,832	(82,832)	—
計	6,373,412	12,768,448	69,874	19,211,735	(82,832)	19,128,903
営業利益	267,177	473,532	48,358	789,069	(254,152)	534,916

- (注) 1 事業の区分方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。インテリジェントFAシステム事業はFAとITの融合領域を対象としたシステムインテグレーション並びに関連機器の開発を中核に事業を行っており、一方IT制御・科学測定事業は主に各種コンピュータ、分析機器、測定機器等の販売を行っております。

- 2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
インテリジェントFAシステム事業	Webネットワーク生産管理システム、Linux関連システム、オープン制御システム、環境計測システム、土木掘進管理システム
IT制御・科学測定事業	各種コンピュータ、センサー及び周辺機器、各種制御機器、科学分析・測定機器
その他の事業	不動産賃貸等

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店が無い場合、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結会計期間において、海外売上高は連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年7月1日～平成20年3月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	20,846
II 売上原価	17,736
売上総利益	3,109
III 販売費及び一般管理費	2,184
営業利益	925
IV 営業外収益	82
1 受取利息	12
2 受取配当金	7
3 仕入割引	42
4 負ののれん償却額	1
5 持分法による投資利益	2
6 その他	16
V 営業外費用	40
1 支払利息	21
2 手形売却損	6
3 売上割引	11
4 その他	1
経常利益	967
VI 特別利益	23
1 投資有価証券売却益	23
2 その他	0
VII 特別損失	37
1 役員退職金	9
2 役員退職慰労引当金繰入額	26
3 その他	1
税金等調整前四半期純利益	954
税金費用	408
少数株主利益(控除)	41
四半期純利益	503